

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年7月8日

事業所番号	2773600487	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 采建設工業	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム あやね	評価調査日	平成 21 年 7 月 2 日
所在地	交野市妙見東五丁目5番13号 (電話)072-810-6610	評価確定日	平成 21 年 7 月 9 日

【情報提供票より】(平成21年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年7月1日	利用定員数	6人
ユニット数	1 ユニット	職員数	7人 常勤 2人 非常勤 5人 常勤換算 4,0人

(2) 建物概要

建物の構造	木造 2階建ての(1階～2階部分)
-------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額20,000円)		
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有(20万円)	有の場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,367円			

(4) 利用者の概要(6月10日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	0名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢平均	80才	最低	72才	最高	92才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひびき眼科クリニック 奥田歯科 星田南病院 交野病院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

管理者は「家庭的な環境の中で自分らしく暮らす家」という理念を実践している。職員の入退職者は年に1～2名で、安定したレベルの介護が行われ、笑い声の絶えないホームです。又、利用者の日々の生活の記録は、定期的に職員会議で検討し、介護計画を更新している。ホームは丘陵地に立地し、窓からの見える風景は、北摂の山並みまでが見渡され、気持ちを和やかにさせる環境にある

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域の自治会活動については、管理者が定例の集會に出席し交流を深めている。職員の研修は介護のスキルアップにつながるため、運営者は重視しており、出来るだけ参加させている。最近では市の主催で研修会が開催されているが、会場が近い関係もあり、出席しやすくなっている。又、散歩等で地元自治会や近隣の方々とは会えば、必ずご挨拶を交わすようにしている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者及び管理者は、職員と一体となって毎日の介護に取り組んでいる。今回、作成した自己評価票については、職員間で自由な討議をして作成している。利用者は職員から見れば、全員が人生の先輩になるので、敬意を持って接している。そして、計画作成者と職員は、利用者の言動を詳しく把握して記録し、日常的な介護と、定期的なケアプランに活かしている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されており、討議内容は、主としてホーム側の活動報告である。その他は、各委員からの情報交流で、ボランティアの方の紹介もいただいている。管理者は今後もこの会議で、自由な意見を頂き、その中から介護向上に活かしたいと願っている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	毎月の費用支払い時のご家族の来訪の際に、近況を説明し、ご意見があればお聞きし、対処するようにしている。更に、玄関に、ご意見書き込み用紙を備え、お見送りの際に会話をした後、用紙をお渡しし、次回の来訪時に、ご意見等を頂けるよう、お願いしている。尚、ご家族アンケートの集計結果では、満足している内容が多い。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営者を初め職員は、地域との交流の重要性は十分に承知し、日常、会えば必ずご挨拶を交わし、地域の行事案内があれば、出来るだけ利用者にも参加してもらっている。又、市からの介護相談員の来訪を受け入れているが、苦情の情報は頂いていない。少数ではあるが、見学者や、問い合わせの来訪者を迎えることもあり、職員は高齢化時代の到来を感じている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症があっても障害があっても、住み馴れた地域で家庭的な環境の中で、自分らしく暮らしたい、という希望を叶えるためのホーム」の理念を掲げている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共用の居間に理念を掲げて、職員の朝の連絡の際に訓示している		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地元、自治会の2ヶ月毎の集会に参加して、情報交流をしている。又、近所の方々とは、日常のご挨拶を交わしている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者を始め、管理者、職員は、介護レベルの向上について、姉妹関係のホームと情報を交換しながら、改善に取り組んでいる		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されており、地元の民生委員には委員として参加して頂いている。又、会議の席上で得た情報については職員で活かすよう相談している		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地元グループホームの協議会に、市のご担当者の出席もあり、情報の交流と懇談が行われている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族が毎月の支払い時に、面会を兼ねて来訪があり、その際に、詳細な説明と懇談をしている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に運営者の出席を頂き、ご意見があれば運営に反映させてもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5 人材の育成と支援					
	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応					
	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援					
	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し					
	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画作成者の指導の基に、職員がチームを組んで検討し、一人ずつの的確な計画をが作成している		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人と、ご家族の事情によって、ホームの可能な限りの支援を行っている		
----	----	---	-----------------------------------	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	内科及び歯科の医師の往診については、月に2回、来診して頂いている。又、症状に合わせた診療科への受診も支援している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化された利用者は居ないが、入所時の契約内容については、職員に繰り返し話し合いを実施し、方針を共有している		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員の言葉遣いには特に配慮して、相互に会話状況をチェックし、話し合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりに合わせた介護を心がけている		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話を楽しみながら、食事の準備、片付けに一人ずつの能力に合わせた手伝いをしてもらっている		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法に身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
--	----	----	--	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		